

よりそう

Side by Side



第83号

編集責任：三好

編集担当者

三好



明るく話せる 高田 俊治さん。

今がガ.真の出番!!

70まで、6/7が ^{高田 俊治さん} 高田 俊治さん
この遠野まごころネットに来ています。当初は、ソフ
面の活動をされるボランティアの方々の送迎をやら
してもらっていました。(車の運転ができません)

車イスで生活する私は、被災者が受け入
れてもらえる存在です。

エピソード1 大船町でイベントがあった日です。
あるおばあさんがおがえされたいほどの物置を越
って歩いてお水取りのにおいがありました。声をかけ、送
って行くことにしました。「あそこがトイレ」といわれたので車
を降りると、トントン先へ進む。「なんぼおんてい、こ
んなに遠くのはずかしい。おばあさん、合所言話？」
先「○○の△番」といって、たのて、通りがあたり
に聞くと、これがとんでもない方角だ。て、EJぬ。
EJぬ。ついに家へおくり届くことができた。

とくさ軽い痛みがするんていたよ。別の機会
に再び、おばあさんと字括た ^{高田 俊治さん} 出合 ^{高田 俊治さん} 人おばあさん
と字括た合掌エエ。「おがえのよりに来て」と。
エピソード2 町の商工会会長さんと仲よくある。
そのお話を聞いて、交通手段がなくなるという理由で
仮設住宅へ入り込める人々が多い。それで、交通
手段がなくなる人々に対して「送迎」をしてもらえるかと
会長さんに相談し、実現している。但し、送迎している人の
家族・親・戚 ということでは送迎している。なぜ
なら、地元タクシー・バスの営業、生活の質の低下
ここに ちよからして。

大船渡市の仮設住宅へのコーポネーターを種
まわっています。これから、「心のケア」を重視しなけれ
ばなりませんので、これが私のような者の出番。
自分から被災者のために送迎したいという気持ちが、渡すお
はかせん。しかし被災者の方から、私自身は多くのお
のといたいてあります。(終)

14台が後に75なて...

8/29 (月)、大船渡市大船渡中の仮設住宅
で遠野まごころネットの“被災支援700ヶ所”を並立
ける準備のため、8/24と初訪問(15M)と組
んで大船渡市に向か。初めに社協の車を借(手入
り水、二台)借り、初めの車(1台)、お別れ
たことお別れ道路で 総計14台、帰る、も14台。
車がつらなり、待避線に入らやります。同乗
していたおばあさん笑いに3げえ。

9/2 (金) 天気 雨

気温 26℃ 晴 23℃ 曇

降水確率 60% 70% 90%